

「未来への活力を育むまちづくり 本港地区にぎわい発信
に向けた取組」に関する意見について

小松島市議会 予算決算常任委員会

例年、3月と9月の予算決算常任委員会においては、議員間でテーマを定めて自由討議を行っている。令和4年3月の同委員会では、今年度に本市が重点的に取り組む施策として上程された「子育て世代応援プロジェクト」関連予算のうち、「徳島小松島港本港地区のにぎわい創出を図る取り組み」に関し、同地区で何が求められているか、どういった施設があればいいのか、子育て支援とどう関連させるのか、委員会として討議し、意見を出し合うこととなった。

同事業は令和4年度当初 議会抽出重要事業にも選ばれており、委員会においても様々な意見が述べられた。その内容を行政当局にも取りまとめて提出すべきとの意見があったことから、このたび意見書として提出するものである。

同事業推進に当たっての参考にされるよう願うものである。

令和4年4月14日

予算決算常任委員会委員長 井村 保裕

「未来への活力を育むまちづくり 本港地区にぎわい発信に向けた取組」に関する予算決算常任委員会での意見

1. 計画立案・コンセプトについて

- ・図書館から周辺まで誘導するような取り組み。
- ・倉庫街としての魅力発信を（万代中央ふ頭の例）。
- ・たぬきをモチーフにしたまちづくり。
- ・広場スペースの有効活用（SL 記念広場、物産広場）。
- ・賑わい創出と子育て支援の2点で。
- ・子育てだけでなく、高齢者にも配慮した区域にすべき。
- ・Kocolo のリニューアルに終わるのでなく、もっと具体的な計画を。
- ・イベントだけでなく、普段から長時間滞在できる取り組みを。
- ・程よい田舎なのが子育てにもいい、若い世代も呼べるのでは。

（具体の意見として）

高齢者が立ち寄りにくい雰囲気にならないよう、どんな世代も楽しめるエリアに。万代中央ふ頭のような、カフェや図書、家具、雑貨など倉庫街の魅力の発信を。歴史的な展示物もある埋文センター近くの公園は、どんな世代も見れるものがある。時期や規模、積算や財源がないので、具体の計画が見えてこない。

2. ハード整備について

- ・しおかぜ公園の遊具の充実（アスレチックなど）。
- ・ベンチの整備（赤いベンチなど）。

（具体の意見として）

蔵本公園のように遊具をたくさん置けば、また淡路にあるアスレチック施設などもよい。滞在時間が長くなると座りたくなる。統一感のあるベンチ、屋根などもあれば次また座りたいと思う。

赤いベンチがまちの活性化につながった先進地例がある。

3. ソフト整備（イベント等）について

- ・フリーマーケットの開催。
- ・橋のライトアップを。
- ・絵画鑑賞、楽器体験など。
- ・日曜市の開催、広い道路を活用し、通行を止めフリマなどイベント開催を。

（具体の意見として）

高齢者でも立ち寄れるようなフリーマーケットを開催してほしい。
徳島のふれあい橋のようにライトアップをしては。
美術的な要素として絵画の見方指導、また触れたことのない楽器の演奏など。
Kocolo 周辺道路でのフリマは過去に開催実績もあり、予算もかからないので計画を。

4. 県市協調について

- ・県と市のそれぞれの所管エリアがあり、ハード整備時の連携を。
- ・県の管轄施設も多い地区であり、計画立案時には県も巻き込むべき。
- ・ケンチョピアのようにヨットハーバー整備、カヌー教室、釣り堀、磯釣りエリア整備を。

(具体の意見として)

市が計画を立てても県の同意が得られなかったり、また県の所管施設は整備をお願いしていく必要がある。ハード整備でちくはぐにならないよう、計画段階から県市協調してやっていかなければならない。また県と交渉し、港湾・海上施設でのにぎわい創出の検討も。

5. 民間活力の活用について

- ・民間のアイデアの活用など、民の力を利用した施設整備を。
- ・ハードの投資が難しいのであれば、民間の力を、産業ベースか福祉ベースか。

(具体の意見として)

公共施設は指定管理し、民間のアイデアを、空き地には民間誘致を進めるべき。

県全体から集客できる地域とするならば、近隣他市と比べてどれぐらいのものができるか、それだけの投資ができないのなら、民間の力をどうやってここに入れていくのかということが重要。

6. エリア外との連携について

- ・日の峰通りエリアとの連携活用で、福祉・医療のまちを。
- ・神田瀬川を挟んで、競輪場の整備（R8）と連携を図ったエリア整備を。
- ・広域公園も含めた、市北部での活用が必要。

(具体の意見として)

日の峰通りの福祉・医療施設（日赤、民間病院、認定こども園、みなと学園など）でゾーンづくりを。

競輪場の整備計画（フットサル場など）も親子連れのエリアになるだろうから、両地区で連携を図って、この一帯を基本方針の考え方に入れられればいいのでは。

本港エリアと、更には日峯大神子広域公園も含めた、市北部での面的な活用が必要である。